



9
読
巻

入河川 みるべのり 下

おと一人おく日。拙者舊里小。今山椒をまとして
なふ人小幸。さ目とんせ。おのこ一人のふくし
き報と集る。机面ハ響の仇らとどく。各さ
事ハ一文の抄も涙をあやけ指茂子れ親入る。
朝う喚と透るるく。内徒のものど責つ人バ。
そ苦しと小法うひて。一季す季れなふ人指そ
けるものなるり。人嚙馬小もおくらとや。その
中幸抱強ふ。とまひて動お僕わう。我
を僕小回て日。汝のこ人情なく。人をひの苛



下

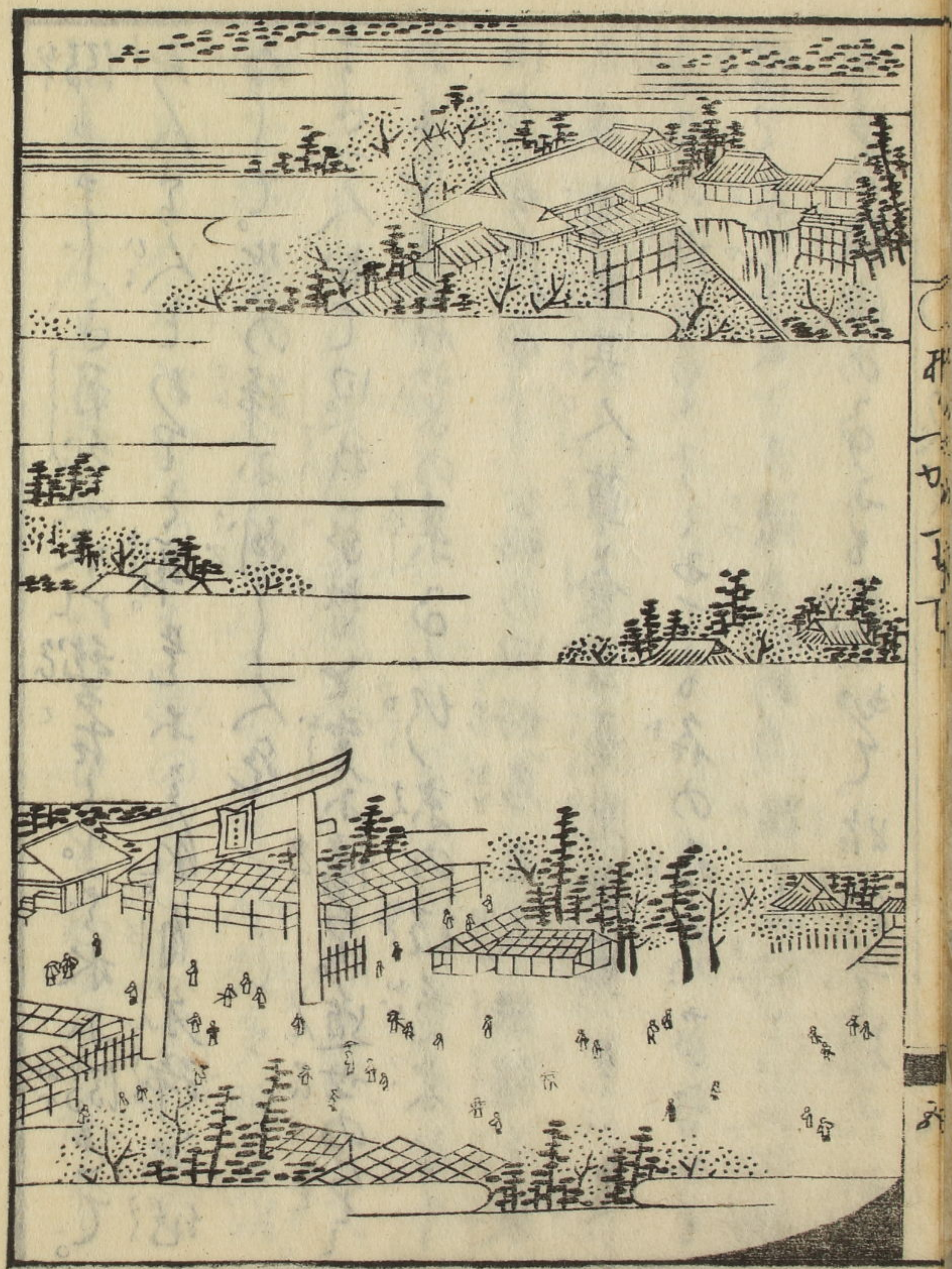
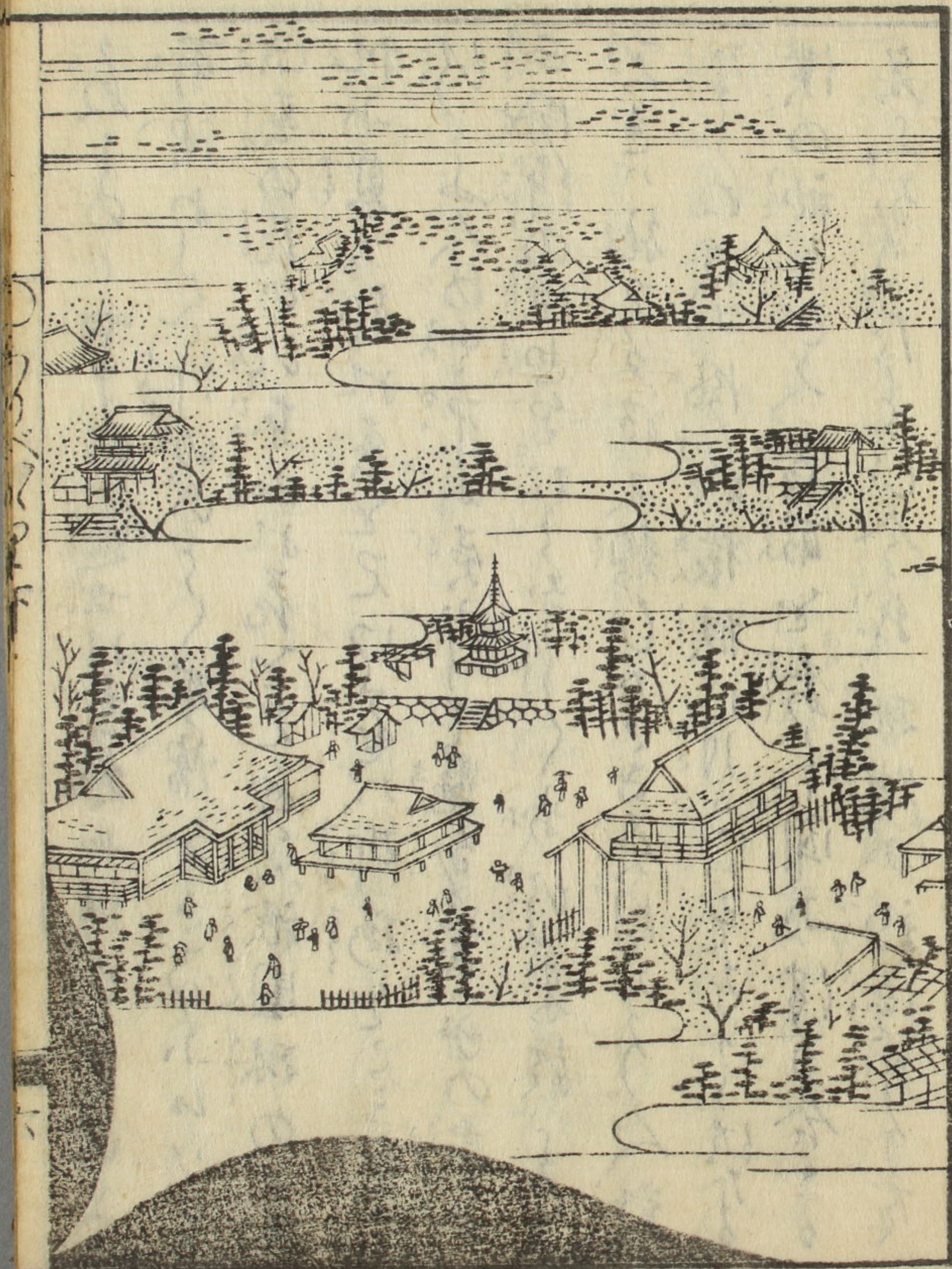
る。遊御小隠をなす。まゝ不汝季と守りて。
勤りしとあそぶ候なれ。苦勞小ハおそまじや。
但しまゝ所謂の能。彼僕の日なる程苦さ
くろく去る。一日の苦勞小疲まて。寐屋小
入まハ熟く寐入る。夫の主人とあり較多の
人とあそび。夜食は公の修めて。ぬいとよ歡樂
極む。怒りまゝさのあれど。朝うぬを
可貴せし。くねし。苦くたれども。寐れハ又
大家の主人。夏中の歡樂をの修む。我ゆかく
人同れ。苦樂ハ糾れ。索のど。樂ハ苦の終。苦ハ

樂の種とや。叔或を合のうめる。身とて。城のま
の主人。小の。ぬれ。む。いかと。浮世。小。と。曉の種。
去傍の返款。と。か。を。と。て。作。く。ね。し。と。曉の
か。の。う。も。夏。の。浮。世。を。是。お。我。が。幸。抱。し。て。
季と守る。而。御。を。又。主人。の。右。左。どの。能。
空ハ。家。内。と。可。戸。罵。り。朝。の。晩。を。責。つ。ふ。
一日。れ。草。川。少。や。寐。入。ま。バ。人。の。奴。と。あり。夜
に。と。ち。く。可。貴。せ。し。夏。中。の。苦。し。と。際。も
か。く。咬。牙。し。汗。し。叫。喚。夜。ひ。と。よ。止。を。ま。す。
苦。患。ま。人。が。く。業。用。針。灸。祈。念。祈。禱。ある

のりくひり

かきりあげ。二カハンニヤ。ハラミタと。声のひびく
よきれば。けり。さるも。負。楯。矢と。射。れ。び。く
ひびく。さんく。小。城。れ。バ。城。敷。テ。前。部。り。て。
声も。む。ど。倒。し。伏。す。死。す。せ。な。り。り。と。人。く
え。解。す。板。小。部。く。降。り。し。と。あ。り。と。其。難。と。除
す。り。あ。る。る。る。る。と。公。経。と。用。ひ。や。り。ま。り。の
て。下。手。な。り。醫。者。の。人。参。と。用。ひ。色。に。却。て
害。と。折。小。同。し。令。預。備。也。あ。り。と。て。令。救。多。腰。小。部。
公。知。り。ぬ。川。と。い。は。る。も。後。の。の。の。あ。り。と。伏。ん。で
死。ん。だ。り。人。も。あ。り。と。あ。り。と。あ。り。と。と。恐。る。と。水。い

水。い。と。用。ひ。小。水。に。絶。ち。香。し。と。水。小。部。り。て。
死。ん。だ。り。人。も。あ。り。と。あ。り。と。あ。り。と。と。恐。る。と。水。い
あ。り。て。せ。の。蹄。小。掛。し。人。死
ま。り。と。一。人。お。て。曰。我。家。督。と。背。小。讓。り。道。世。の。り。と
あ。り。と。も。君。や。ま。の。某。子。以。其。末。の。行。き。来。り
は。考。り。ぬ。魚。し。公。弱。の。曰。好。名。之。人。能。讓。千。来
之。國。苟。非。其。人。尊。食。豆。羹。見。於。色。一。是。ハ。是
孟子。の。語。なり。と。下。し。あ。り。と。名。の。あ。り。と。公。督。と。も
讓。り。家。を。あ。り。と。讓。り。人。わ。り。根。名。同。と。い。は。れ。物
方。も。バ。飯。際。の。り。も。尾。が。あ。り。と。始。終。子。難。小。り



山一七

ぬそののどや。まの道世れ意氣如何。定て海さ
雨漕わし。作のぶとく。雨漕かさるふらつと。
は春の花の比。東山れ花と見ゆ。祇園林の麻
机小息。却れ春と見つて。柳橋をこさて。更て。
比ふ人の中。小負りて。艶あり富家の處女。
西風作の信。通を。いとあしく。歩け。来れ。よく
又も。バ。能。又。頼。ひ。た。さ。又。同。を。人。教
た。の。我。不。風。情。猿。猴。れ。月。及。り。ど。を。な。り。信。な。り
僕。の。袖。を。ひ。え。名。雨。と。あ。く。聞。ふ。は。り。合。さ。り
見。上。る。り。た。と。い。今。我。挑。焼。小。納。降。か。り。た

一念力。糖糲。次。身。で。疾。と。湯。と。成。た。と。狗。の。十
た。し。ぎ。ん。元。上。ど。小。仕。上。か。バ。と。處。女。の。ゆ。の。を
狗。小。盈。晋。賢。像。も。揚。き。也。も。花。の。教。が。と。え
を。り。も。せ。ば。一。船。小。若。小。郎。中。あ。り。ゆ。ら。す。て。
只。令。預。備。の。子。吏。の。も。長。袖。と。く。舞。多。浅。と。く
あ。さ。あ。あ。あ。ま。ま。ま。の。賣。笑。を。廣。く。甘。ん。か。ハ。
元。ま。が。身。一。あり。ま。い。袖。ハ。振。小。振。ま。は。免。や
せん。角。や。と。美。盤。と。持。か。ぐ。ら。怪。め。お。お。り。れ。
葉。一。疲。ま。ま。ま。ま。ら。じ。う。ら。去。大。名。の。御。金
浦。を。石。少。く。は。め。先。世。由。用。達。一。合。ま。れ

内八百女は度下し並々皆さひひけなく寐
年小令。五づく頃戴し。まげけのひと極として。
絶ふを内ふ。赤玉づく。西玉がこれむしれ得て。
久しく絶て。こりりもせざるかしく。古き沙羅を。
皆淋して。むしの通り賣買。まきりこれほ又。
甘ひのハ緩小砂。静。于飯小水。令も得とも。殖る
消小く。二年の内小。居宅もさしむり建垂し。
扱い六被始い。まじ嫁せざるを幸小。嫁とむして。
内まを聞小。縁ハい。かまの兼川まきく。結納の
中。祝云の扱れ儀式。首尾よく嫁小。死淋。

るもなく帯の流し。結文たり。孕とて男子と
まかけ。主婦れ。赤し。い。まんのかさなく。髪並
鬘着。だんく。小生長して。土歳の冬れ。あ。
二。三方の。女。法。さ。家。内。系。外。あ。さ。あ。目
むるを。光る。流。巾。を。着。十。人。げ。り。盗。賊。込。入。
肉。後。の。者。を。扱。と。結。り。某。あ。も。猿。轡。う。ご。り。バ
突。度。さ。さ。し。の。さ。う。あ。る。と。女。房。と。婢。と。バ。ま。と。の
繩。小。志。め。結。を。内。徳。令。の。み。ま。和。云。ハ。せん。と。可。責
ま。る。書。あ。ひ。た。で。正。体。も。ほ。り。外。の。こ。と。か。さ。と。
ま。こ。比。だ。ら。と。や。れ。ま。い。ん。井。れ。肉。ハ。治。を。さ。げ。て。

つらべのり

さへぐ小携同す。はるさぬとるかかり。さ。
その六いれども。お随つて。公のうらハ七時八動。
終小繼とさるおさき。井の底めて叫ぶ声。
膽小あえて。うらと同と周。忙然として。さ。
身とすれば。舞盤と持る。怪あふとさき。
きり。ぬいあふくさる。か。嬉しき中。あも書
子のゆ。さ。幽さハか。り。さ。君のあふ
河さ。揚子も遠い。書あもさ。ぬい先も
愛なる。ほくぐ。れ。さ。ひ。さ。さ。さ。さ。
あき。愛あも。河。れ。十二年。史。婦。さ。成。回。穴。連。理。の

賢王と結び。十一歳の男子まで。育て。ゆげさ
け年月。愛とハ。史。お。に。げ。り。さ。さ。さ。さ。さ。
さぬと。愛。と。の。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。
なる。さ。の。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。
ハ。我。愛。小。十九。の。累。系。なる。商。あ。さ。書。子。小。入。
三十年。の。あ。れ。ゆ。と。あ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。
る。小。種。く。さ。海。く。樂。も。も。さ。若。く。も。も。さ。悦。び
と。あ。り。愛。も。も。泣。と。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。
さ。さ。さ。得。と。さ。り。さ。り。福。福。存。亡。一。く。小。い。の。さ。
さ。さ。さ。三十年。同。の。愛。れ。覽。は。一。年。れ。内。小。書。あ

つりていりて下

離き二十五歳の男子と先どて。男もあつた。在
小なる。そ次の男子小たれれまのの憂り
今し。愛を小母帯を觀ど。おしるに姉つ
女の子小。聲と入して跡と儂り。出家せし愛と
えさ。いさごとく。くま愛が夢ぬれ。出家せ
今小出家なる。跡を控て吐され。これ
實と愛なる。といひ。汝の愛と實なる。とあり。い
づきと是とえ。何と非と人。ぬまこと。いと
遙かる。西南れ隅小わひて。寓言國といふ國を。
けふの陰陽の字交り。夜七分。空三分。これ所

なり。故小空起て佛く。男ハ終小三分。夜寐
男ハ七分。あり。は北の人くハ。起て佛くと愛
あり。とれ。い。寐と男れ。ゆわと實あり。とて。我
今起て佛と實なり。とあり。寐と男の愛を
愛なる。とて。我彼玉の人を笑り。彼玉の人又
愛と笑り。人竹。是。い。非なる。人。是。非
とも。小。是。なる。人。是。非。とも。小。非。なる。人。は。あ。り。も
現も。現。なり。現。も。愛。も。愛。あり。現。と。是。を
現も。愛も。あり。現も。愛も。愛と。是。バ。先。
是。と。む。る。と。て。取。り。ぬ。い。は。愛。幻。泡

新なり。夏も我々の夏あわさど。現も我々の
現あわさど。いれ自得せ。道世といひ及ぶはし
古奇小。司候小公しうりと何人よ山も海世の
印かきつばこせ

まゝ一人出て曰。扱く世小いあるあり男もある
そのうね或雨のあぢ店小。お浪敷多取敷し
みと又て。彼男はうくふと。令一極とはうんで
出於店の人く川捕へ。礼公のま首を。け人が
同小見くぬ。夜空がそのうぬ。いやちや不替
用を盗人のうく。令とと店へ突設せばなご

かげ小とを扱く。私中より盗人かす
盗もさかまハかけきども。今日令子みおかければ
跡も先もけぬあり。何卒。令子みあうせあ
りやくとたり小矢先。この店のりのとんて
侍小人の形もあくと。夜空といふ案もつとど
まふ小と案りまくと。面目もなまは仕合ま
し。お免あくと。赤死ういて帰らう。今小
公と案りまくと。人のまが同小とぬの。あつと
知まぬのとい。あつと。思わらふ。いれとや
お尋。是おハ一向。尋も案もいれぬ人トや。去

かたじけなく。は人をむすも笑ふれぬ世なるふ多く。まじり
トや。金根小国がらまきて。義不義のつるぬ令
わり。通れれつるぬ人も。まじり公事と公事と。まじり
兄弟不和成もあり。親類と公事と。まじりあり。
是小舟して。吐くが。成不。親しき兄弟の
まじり。死に。遊山。あ及び。神清て。佛系
も。他人。まじり。兄弟。成。例の兄弟。連
れて。化。途。申。まじり。まじり。拾ひ。まじり
天の。と。恨。ひ。て。只。路。の。舟。まじり。中。へ
まじり。時。金。彼。拾ひ。まじり。まじり。の。令。と。出。まじり。

候海へ投込る。金兄弟。何れ。金兄弟。
おふり。まじり。の。兄。な。れ。ば。又。も。母。も。まじり。お
まじり。令。と。拾ひ。時。まじり。兄。な。く。ば。我。一。人
拾ひ。まじり。まじり。まじり。令。の。兄。な。れ。まじり
まじり。割。まじり。まじり。の。まじり。拾ひ。まじり
と。まじり。まじり。まじり。の。まじり。まじり。まじり。まじり
て。兄弟。中。の。破。れ。まじり。信。友。と。中。に。まじり
あり。常。お。まじり。まじり。まじり。まじり。の。破。れ。まじり
まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。の。破。れ。まじり
まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。の。破。れ。まじり

わりの下

待たのしと放てまひしとて命と争ふ人も有。令れ
出入づ病と成。寂滅うたふ人もあり。建報と實
として。尊じハ何のよめ。餓ど凍ど命と争ふ
せん事あたる。然る不足るものと知るる人の厚
味受服と貪つて。得るるを争ふを費し。
和歌換亡小室とつ先令ハ定れり。知るる命と
五割と端むれなり。礫ハ水難火難のとき令報
衣頼小公を遣。火小焼水小溺。小同く是事
悪なり。ふあどどや。扱又ちよ山と云ふ。バ
るがみ道と知るる人の及小遺るる物と捨れど。彼

命と捨ひし兄弟も。惜しくハ未道を知るる人。
天の豊と悦びて。遺るるを遣ふ。たし人といふ
や。を遣ぬし。わる令と私小。天の豊。商人や人の
れ。朝の下。國より。ら小遺るるものハ。ま。おの
なりとて。誰も捨れぬ。阡陌や途中。小移らる
ものハ。ま。ど。あ。の。お。る。我。國。の。外。朝。より。外。ハ。
皆。お。上。の。去。比。を。遣。り。や。内。上。の。もの。と。私。小。天
の。豊。と。捨。ひ。か。バ。カ。け。て。わ。が。と。蒙。る。人。扱。又
道。不。遺。る。物。と。捨。れ。る。人。と。是。て。室。れ。山。り
入。り。を。遣。り。と。室。し。く。と。り。と。い。ふ。是。が。遣。る。大。人。

つらねのふり

十一

昨の熱あきぬはまて何ゆふいびんとさして
 思や。葎の口。熱ハ社日と刻めて。菓と辯て
 去とりのり。古さ書ふもなまじ。今日おふて
 りあもあつど。さして命の何はもたう。我おそ
 ま。命おかれ。實の怠愆者。名けうハ刻
 杯ども。彼居おハ。考屋お云附。例年のごとく
 放し多。葎何百ね。指何ね。申日おおあすだ。
 幾日ハ先之。祀の日。幾日ハ親の日子の日。たして
 百ね。式百ね。ほろぐの。注文。考屋もさうり
 前。前。方より。挿集。買集。く。彼居を待。

そあ。あ。だ。れ。困窮。お。お。ハ。冥途。の。考。成。死。跡。り
 考と。菴。小。浩。怠。愆。者。の。か。入。お。お。バ。自。菴。の
 戸。と。同。さ。何。や。唱。て。に。さ。れ。ども。疲。息。果。て
 卑。お。ハ。入。つ。ど。菴。ハ。お。て。も。さ。り。能。な。げ。や。う。く。お
 塚。の。と。義。の。庇。お。庇。さ。上。一。息。い。ま。と。ほ。ぐ。と。ん。ぞ。
 わ。ま。こ。ろ。う。終。よ。か。さ。く。考。終。と。も。も。考。終。終。り。
 げ。ま。向。く。れ。と。さ。ら。と。殺。して。さ。れ。と。考。ふ
 考。せ。ら。殺。して。考。う。考。終。さ。ら。う。挿。す。時。の
 考。し。と。推。量。して。又。の。人。と。考。終。さ。ら。う
 考。し。け。と。い。る。考。葎。の。云。い。と。く。買。人。う。ま。バ。

考。終。さ。ら。う。

考。終。さ。ら。う。

賣人う出ま教し人かある人捕人かある中らと
の教しを捕て教す人いさり教し意地がむと
あてするひふ教すふあるひもある。お使さふ
せしひれ却て教すふたうもある。一人の孫を
寵愛のあまると。甘きものと冷せると。病者ふ
すり教すもある。子と云はれあを愛ふ溺れんさ
かたものそとせ。用ひがくものそとせ。若き若
物を若せ。教るものそとせ。人教りゆとあ
りて。字は筆随ふ字と持せ。息子のうらま
しめせよ。世おとつふ成るると。おひひるや。

無きふふ常用あて。肝心れ家業がはるをあては
り末が覚えなひ。大小をか。一つ家のあつたを
大りのものトや。き方正のすて。かよと持るせ。バ
そあくおひふ書子眷属難多とする。是また大
から教すか。や。鳩やま先と教すをててハ教
せたりと。形と頻先。孝の毒か。好く人くふ自教
教すはらと。おむと。無量の教すはら人多し。
子代小者と。はらふも。是も人れ子なりと。あひ
らふと。はらふと。止むと。はらふと。あ
教すはらふと。あひらふと。あひらふと。あひらふと。

つりひのり

二

呵、おれは奴らばかりぢやないか。是ハ人の子なりと云ひ、可
憐なるものも多敷い。可憐なるものも、此ハ世なるものも、
止れども、少くのものハ世なるものも、料簡して、
奴らにぬかりして、漸くもの。是も、
たり。肩尻より着這入るものも、
持てぬ。扱まは、
糸束り、
傷ふ。小紋布れ、
け、
盗せぬ。さ、

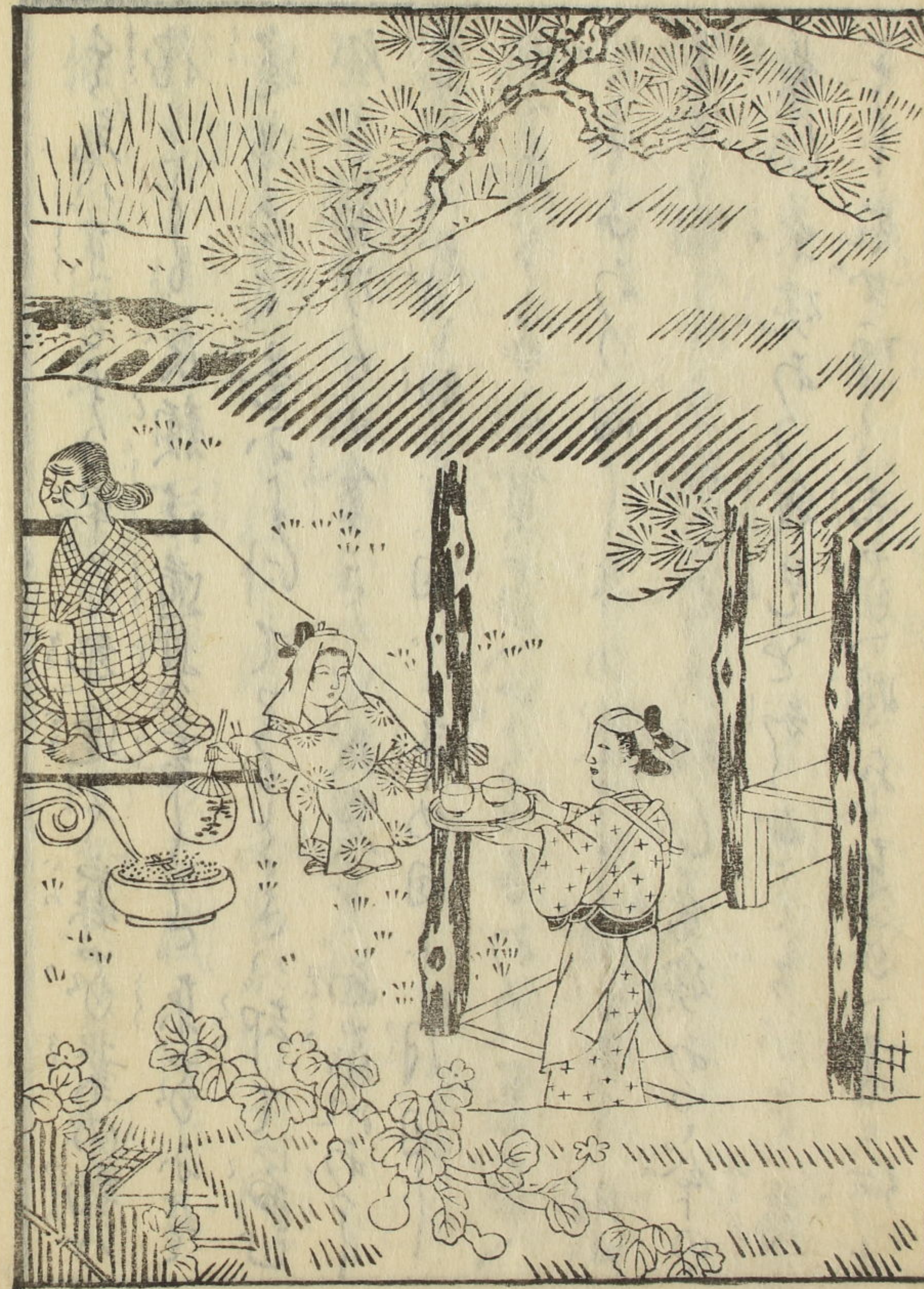
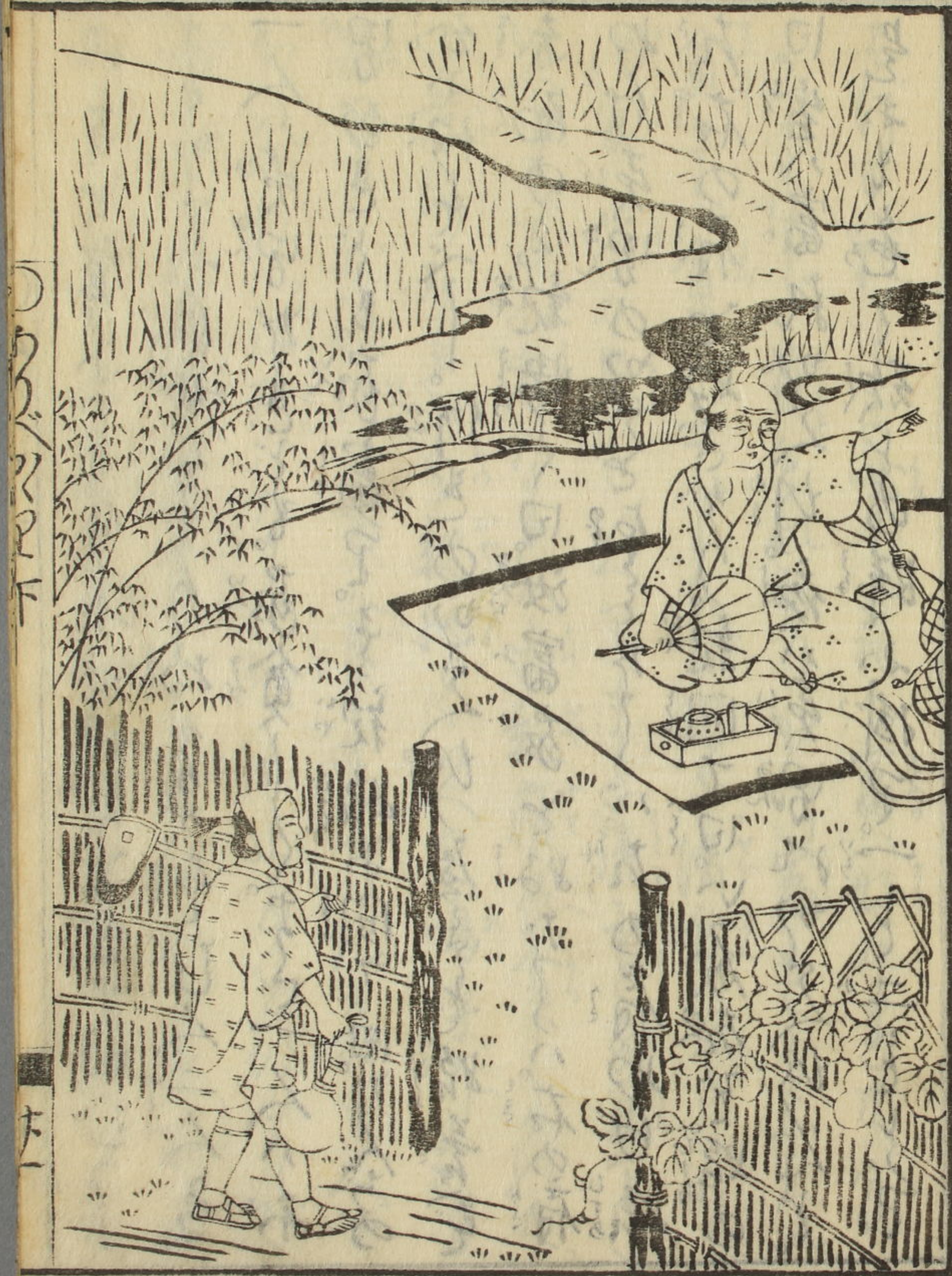
止れよ。盗と、
なりと。紋布と、
ぬきと。せぬ、
可憐なるものも、
子、
ぬきと。せぬ、
か。人のけ、
重しや。ま、
の、
あ、

大いなる教せしむ。先づもいふ通り。奪も教ふぬ
程の人あり。是れぞ教せしむるにわづらひのなり
此用なく。○禁教生婦人経候の申不交合し。
と。懐妊するときは。その子あり。と。癩病小なる
といふ。古書あり。と。人これより。知る。の
る。な。も。こ。も。の。田舎に男女小。未だ。知。ら。ず。も
わ。ん。し。安。小。記。を。婦。人。に。経。水。と。懐。ま。ど。し。て
交。り。その。血。止。り。懐。胎。せ。ば。その。子。あり。と。癩。病。と
な。る。ん。と。我。子。癩。病。小。成。な。ば。親。先。祖。の。命
同。と。け。り。一。類。の。教。と。い。ふ。と。是。大。い。なる。教。生

あり。ぬま。癩。病。小。なる。と。その。子。れ。一。生。を。悲。ハ
ぬ。何。れ。ん。その。子。れ。一。生。而。已。な。る。と。その。子。孫。に
そ。血。を。傳。へ。そ。悲。と。傳。へ。る。大。なる。教。生
か。ら。ど。や。子。孫。小。愛。同。と。教。せ。そ。教。生。小
誰。か。ら。ど。と。懐。ま。も。懐。ま。じ。と。思。ひ。て。思。ふ。と。
又。一。人。お。く。日。某。の。存。知。合。ふ。而。も。同。一。高。賣。も
同。一。高。賣。教。し。も。同。一。教。し。も。同。一。高。賣。も
な。ま。小。貧。福。同。一。か。ら。あ。り。西。家。小。貧。く。
東。家。小。富。り。予。そ。東。家。小。好。て。同。と。え。と。何。某。と。
同。も。同。一。何。家。業。も。同。一。家。業。教。し。も。ま。と

何ト以て其能も劣るべし。然るも其能の
貧しく。是れハ富也。何の不同あるて。かくれごと
まや。東家の之を鼻をわらひ。人小賢者あり。
利鈍あり。せらり。あき今れ世れ中。其智人小
勝といひ。是れ福の書も出来ぬ。何も角も同く
りあり。貧富同く。あきせ。ハ世に疎忽千万
なり。其能も不劣也。是と口ハ云ふれ。ま。と。一。年
さき。近帰。了ぬ。を後。ま。西家。小。坊。て。同
く。元。と。何。某。と。而。も。同。ト。而。家。族。も。同。ト。家
族。年。も。同。年。其。能。も。ま。優。劣。も。同。ト。也。然。る。も

く。元。ハ。東。家。より。早。く。起。運。く。麻。家。業。の。勅。ハ
勝。も。同。ト。衣。類。法。道。具。著。し。く。東。家。小。を
違。劣。も。同。ト。是。小。より。て。る。と。さ。ハ。却。て。富。也
也。其。能。も。劣。り。小。貧。也。ハ。い。ふ。成。也。ど。而。も。其。能。も
同。ト。我。も。知。れ。ど。同。ト。年。の。同。ト。月。同。ト
日。小。産。も。子。小。貧。也。ハ。生。る。子。わ。り。富。也。ハ
生。る。子。わ。り。同。ト。年。の。同。ト。月。同。ト。時。小
富。也。同。ト。業。碗。小。命。の。短。い。業。碗。あ。る。命。の
長。い。業。碗。わ。り。我。是。と。知。れ。ど。と。い。ひ。ま。其。能
も。一。處。女。何。バ。西。家。一。婦。也。東。家。一。也。何。レ



の方と聲小一のふ。お母笑と合て曰。じう
さうか。ふ。處女をとり持たるが。をじ人二人あり。
一人は貧男を色ども。お富貧しく。やう一人は不
男の色ども。お富富上。お親始お同て曰。なんぢの
お小仁とべ。何きのか。えり。富をど娘をど
赤面の。親悟く曰。汝富家と好なり。右の府
わけ。貧男のか。とや。ちう。バ。左の府わけ。娘
た右の府とね。ど。り。親同て曰。い。成をど娘の
曰。左ハ富れか。えり。夜ハ貧男れか。えり。と。
是おも色と欲との蹄。お掛。一と二とと。

をけと。れ。一。さ。吐。お母も富ハ好なま。富
よ。ま。ま。貴。れ。わり。お富も。と。ふ。り。
貧も。貧。く。ふ。り。右。清。貧。ハ。帯。小。お。そ。
富。ハ。帯。小。患。と。い。り。ま。と。讀。お。富。上。と。
い。ども。子。不。孝。な。ま。を。親。腹。お。貧。く。れ。た。
子。孝。け。な。ま。を。親。把。と。い。り。ま。鳴。呼。何。ま。と。り。
富。上。と。い。ひ。何。ま。と。り。貧。く。と。い。り。ん。お。母。を。人。と。
知。ら。ざ。れ。ば。誹。判。ハ。な。り。祿。ども。止。め。と。好。ま。り。で。
論。じ。て。見。バ。西。家。の。貧。も。忍。純。の。る。と。前。お。
あ。ら。ど。東。家。の。富。も。お。智。れ。た。と。前。お。わ。ら。ど。

ついでに下

下

是皆天なり。人のよくすれぬおあふのさうふ
暫くともさ小遇ハ。附小遇さり人と見下しおのれが
志量なりと矜れ。是おハ道を知りさる人あり。
いま道を知りさる人の貧富盛衰も我ちさうの
たれ知とさし。飽きそ人欲深さあ。何ぞさう
當ととき。歎おさる患と抱さ。天ととも悲そ。
人ともむじ。自修の薄ハ。活べりさる人あり。
又一人おく曰。某は以浪義ハ下りしとき。水と
擔つ高し人あり。同修なりとれ是とて。嗚呼。
船義の津あり。波世の易也。比たなりといふハ

如何と同きれ。水もを浅不成とり。今一人の
同修なりとれ。波世れ一がささ土比たなりといふ。
と如何と同バ。水もを浅とせバといふ。予け
務員と附し侍れ。何まのか。人園と揚ん。
此考あり。翁の曰。是もまた。止るゆゆも
し。徳して又バ。是ハ仕やさし。水と賣ても
殊なかり。父母の心を盡しおハさる人あり。又
波世の志がさし。水もを浅とせバといふ。子弟の
言と引立ぬ。おハさる人あり。去方なり。皆さる人の
分利。是れハさ難と易の間小遊り人。ぬこさ小

わりのり

類せらるるれ。病もそとひかた子やさんばは
さるる人治ひし。夫婿の挨拶。病はさる
お楽なうん。我おはまごけやう。寒ひ小付。暑ひに
月。人と老人の苦とほふ。唯苦と老のそなるは。
病とつふ。小こゆり入。そとや。病小。病小。小
ひげ。下雅どもおもけ。おもひ。ちりりと。病とま
それ。は。色。す。た。な。れ。す。ひ。と。先。列。う。甘。ま。の。美
利。も。毛。羽。代。仕。立。賃。さ。う。高。く。換。な。ま。さ。は。是。
おも。す。い。痛。う。も。を。色。は。おも。も。ま。さ。去。の。の。ご。く。
病。を。治。く。そ。う。を。病。小。仲。れ。り。冷。でも。入。ま。は。

せらるる。時。良。小。中。げ。の。事。欠。を。上。病。を。あ。ま。
病。を。ど。も。れ。ば。り。や。と。も。病。醫。者。小。か。け。の。ば。あ。る。は。
法。の。二。三。日。れ。業。代。でも。む。け。り。れ。み。足。や。三。足。の。
何。の。苦。も。あ。あ。飲。く。仕。業。を。病。の。換。と。り。人。は。
今。れ。換。の。却。り。利。か。を。と。め。く。利。の。附。算。知。り。
で。は。高。人。れ。家。の。お。い。さ。ぬ。と。ま。ひ。さ。さ。日。ま。さ。去。方。
病。ひ。し。小。愛。あ。ま。ま。さ。を。け。ち。の。病。治。る。ま。婦。の
挨拶。小。二。三。日。け。さ。の。俄。小。手。は。ね。ど。う。病。を。
さ。の。病。を。小。退。し。れ。ま。さ。と。我。お。ハ。何。病。を。あ。て。も。
病。を。あ。ま。ひ。か。ど。ま。の。病。を。あ。ま。ひ。く。ま。る。人。病。の。

病のりべり下

下

